



県青中 交流事業 「委員長・副委員長交流会」を終えて

鳥取県中小企業青年中央会 会長 田中 寛之

1月26日(土)～27日(日)に鳥取県中小企業青年中央会の交流事業である「委員長・副委員長交流会」をはわい温泉の「羽衣」で開催いたしました。本年度のテーマ「共感」のもと、交流の輪を広げ、各地区青年中央会の更なる交流を深めたい思いから、本年度初めて副委員長にも参加いただき、出席率も高く、43名での交流会となりました。

委員長テーブルと副委員長テーブルに分かれてのグループディスカッションでは各テーブルとも所定時間では足りないぐらい白熱した討論となり、そこで出された意見などが今後の各地区の例会と委員会の運営に役立つのではないかと考えています。

懇親会もまさに東部・中部・西部の垣根を取っ払った交流となり、深夜まで盛り上がりました。

中部・西部では副委員長は役員ではなく、副委員長の意識向上にも役立つとの評価を各地区会長からいただき、参加いただいた副委員長からも「勉強になり、刺激になった」との言葉をいただきました。是非、次年度も継続して開催させていただきたいと思います。

最後に担当していただいた大田県出向をはじめとする県青中の情報交流委員会のみなさまお疲れさまでした。そして、参加いただいた各地区の委員長・副委員長のみなさまありがとうございました。

行政との連携（鳥取市経済活性化戦略）

クロスメディア委員会 永井 利幸

行政との連携を図るため、昨年7月から鳥取市職員として青年中央会へ入会し、共に活動を行っています。そこで、鳥取市では、2009年度の鳥取自動車道を踏まえ、経済活性化を一層推進するため、中・長期的な視点での産業振興の方向性や平成20年度～22年度の3年間に重点的に取り組む施策などを示した「鳥取市経済活性化戦略」を策定することとなり、青年中央会メンバーと市の地域経済戦略室との間で①市場開拓関係、②企業誘致関係、③人材の育成・確保関係、④地域の活性化関係、⑤観光関係などの様々な鳥取市の経済の課題についての積極的な意見交換（平成19年11月22日開催）を行いました。直接に意見交換することでお互いの意見や考え方を共有することができ、また、より実際に即した戦略策定をするためにも有意義な会であったと思います。今後も行政との連携を積極的に図れるよう微力ながら頑張りたいと考えていますので皆様のご協力よろしくお願います。



Information

●新入会員紹介

11月入会 松島 祐一
有限会社松島工芸社（意識改革委員会）

11月入会 谷口 貴
木谷建具製作所（経営計画委員会）

1月入会 谷口 崇博
青谷和紙株式会社（経営計画委員会）

編集後記

雪も多く寒い冬ではありますが、春は目の前です。花咲き乱れる春に向け、一足先に、個性の花、笑顔の花を咲かせましょう。
クロスメディア委員会 植木 仁美

鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

2008年2月発行 No.146

発行 人谷口 昌弘(平成19年度・会長)
編集責任者 山本 浩(クロスメディア委員会委員長)
編集委員会 クロスメディア委員会
URL: www.tsc21.gr.jp E-mail: tsc@tsc21.gr.jp

平成19年度テーマ 次代を見る「感性を磨け」

「われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
われわれは団結して中小企業の発展を図る。」

会長あいさつ

新年例会も大成功に終わりました。ご来賓の平井県知事、門前商工労働部長、木村課長、竹内市長の青年中央会に期待される期待度はかなりのものと感じました。OBの皆様にも「現役あつてのOB会」と励ましのお言葉をいただきました。

全会員が元気になる、地域を元気にしていきましょう。そのための中央会活動はどうあるべきでしょうか、2008年は次代に備える1年にすべく、当会の35周年は？鳥取自動車道開通に向けてにむけて、鳥取因幡の祭典は？会員拡大をどのように進めていくのか？等の取り組むべき問題も多々あります、グローバルな発想でねずみのようなすばやさで、目線で細かく噛み砕いて具体的に進め、未来のための1歩にしていかなければなりません。

「夢現力」「現場力」「人間力」を追求して感性を磨き次代を見る！地域の元気は我々にかかっています。みんなで考えていきましょう。

また、個人的にはSC鳥取(サッカーチーム)を通じて、地域が元気になる取り組みが必要と感じています。県経営研修会を通じて会員の皆様もその可能性を探ってみてください。まずは1歩！地域が一つに！東部青年中央会頑張ろう！



会長 谷口 昌弘
TANIGUCHI MASAHIRO

例
会
報
告
REIKAI
HOUKOKU

平成20年 1月新年例会について

経営計画委員会 水野 一久



皆様、新年明けましておめでとうございます。また、1月24日(木)に行いました1月新年例会では、多くのご来賓の方々、当会OBの方々にご出席頂き、誠にありがとうございました。一般的な新年祝賀会では、演台の上からお祝いのお言葉を頂き、それを聞かせて頂くのみというケースが多いのですが、今回の新年例会では「来賓・OBの方々積極的に交流を深めよう!!」というサブテーマを設け、コミュニケーションをとらせて頂くことに主眼を置きました。新入会員に関しては、初めてお会いする方々ばかりです

で、委員長等に紹介して頂き、まずは名前を覚えて頂くことから始めてもらっています。中には家宝に出来そうなツーショット写真を撮られている会員もおられ、少し凶々しいところではございましたが、ご勘弁頂ければと思います。また、いろいろとご質問、ご依頼をさせて頂いた会員もいたように聞いておりますので、是非とも今後のお付き合いの拡大に努めて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、例会にご出席頂きましたの皆様、例会の運営にご協力下さいました関係の皆様に、改めて深く御礼を申し上げます。



例・会・報・告

夢現力

10月例会報告

経営計画委員会 水野 一久

当委員会のテーマは「夢現力」夢を現実にする力です。ただ、漫然と日常の業務に従事している会社や夢を何となく持っていても行動していない会社と、目標をもって計画的に経営行動をとる会社では数年後には明確な格差が生じます。青年中央会に入会し、多くの仲間が増え、夢を語る機会が多くなってきましたが、実際に行動に移しているのでしょうか？私自身にも疑問が残ります。

そのために「経営計画書」を通して、何が必要なかをもう一度この例会で考えて見たいと思い、神戸マネージメントサービスL.L.D代表の柴谷真治様に講師をお願い致しました。経営計画とは、現状から将来あるべき姿に到達するための「道しるべ」となるものです。良い経営計画は、その目標を実現するために何をすべきかが明確になっており、それによって、自社のあるべき姿を具体的に示し、着実にその姿に到達するために経営計画を作成する必要がある。また、到達出来なかった時に原因を考える為に作成が必要ということを今回の例会で勉強させて頂きました。



環境

11月例会報告

身近ing委員会 川口 孝治

11月例会は身近ing委員会のテーマである『環境問題』について、サントリー天然水株式会社・代表取締役社長の徳田昌嗣氏をお招きし、『サントリー水ビジネスと環境保全への取り組み』という演題でご講演頂きました。

地元である大山が製造拠点ということで、身近な問題として『環境問題』を考えるきっかけになったのではないかと思います。これからの企業活動に必要な『環境問題』を、自社で具体的にどう取り組んでいくのか、是非これを機に実践して頂き、企業価値向上に繋げて頂ければ幸いです。



絆

12月例会報告

フロンティア委員会 鶴巻 順

意識改革委員会・フロンティア委員会による、3ヶ月にも及ぶ合同委員会において企画・運営を行なった、12月「絆」例会が無事終了いたしました。年度当初においては、12月例会のコンセプトはゼロの状態からのスタートでした。より会員相互の親睦が深まる例会にしたいとの我々の思いから、全会員対象にアンケートを実施することから始め、結果を精査し、より楽しい例会へと両委員会メンバーが知恵を出し合いました。参加者全員が無条件に楽しんで、友情が深める様にと「絆例会」と名づけ、会員のみ参加の例会としては初のお酒を提供し、委員会の垣根を外すべくランダムに着席してテーブル

対抗のゲーム、またハンマープライスと、例会に与えられた時間を精一杯使った盛りだくさんの内容となりました。ゲームでは、会員の皆さんがテーブルごとハッスルされ、ハンマープライスでは思い思いの商品に手を挙げ、駆け引きを周りの方も楽しんでおられました。

企画提案の際には、役員会において様々な議論・ご提案を頂戴いたしました。また、企画・運営には、両委員会のメンバーに貴重な時間を割いて会議に参加して頂きました。そして、会場の会員の皆様には、楽しい笑顔をたくさん見せて頂きました。皆様のご協力に感謝いたします。



フラワー実行委員会からのお知らせ

第7回フラワーフェスティバル実行委員長 池口 哲夫

「咲かそう ふれあいの花」をテーマに今年もやります！2002年から始まったこのイベントも今年で第7回。もう当会の顔となっています。地球温暖化、環境保全が叫ばれている今日、当会はいち早く環境に注目し、自然の中で日本一の湖山池と親しもうと前身である「手作りカヌー大会」から始まり、現在は地域の皆さんとのふれあいを大切にこの「フラワーフェスティバル in 湖山池」が続いています。今回は船による湖山池の周遊、湖山池の葦を使った手作り和紙教室、ペットボトルロケット大会、フリーマーケット等に加え、ガーデニング教室など復活したイベントや新しい企画を用意しています。会員外からの企画参加も予定され、一段と楽しい1日になりそうです。又、鳥取自動車道開通記念事業である「2009鳥取・因幡の祭典」に季節イベントとして参加し、マスコットキャラクターも来場予定であり、一層盛り上がること間違いなしです。4月20日(日)湖山池お花畑ゾーンにおいての開催に向け、実行委員一同テンション上がりっぱなしで突っ走っています。是非会員の皆さんはもとより、身近な方へお声をかけて多くの方に参加していただき、ふれあいの花を咲かせましょう。



親睦事業「サッカーで共感しよう！」を終えて

鳥取県中小企業青年中央会 会長 田中 寛之

昨年の10月28日(日)、秋晴れの下、鳥取県サッカー界の聖地とも言える「バードスタジアム」で県青中の親睦事業を開催いたしました。

本年度のテーマ「共感」のもと、会員内の交流にとどまらず、交流の輪を更に広げたいという思いから、サッカーを通じて鳥取県の団結と活性化のために努力している、株式会社SC鳥取の塚野社長とガイナレ鳥取の選手の皆様をお招きして「サッカーで共感しよう！」というテーマで開催いたしました。サッカーの講習を受けた後、親睦試合などを行い、各地区会員同士の更なる交流を深めると共に、鳥取県の未来をこの事業を通じて共に感じ、共に感動することが出来ました。

親睦試合の結果は、西部!が見事優勝! また、地区対抗PK戦では中部が優勝!ゲスト地区の西部・中部がそれぞれ優勝し、東部はしっかりホスト役を務めてくれました。(笑)

懇親会でも各地区が混ざるかたちでの席として、まさに垣根を取っ払った懇親会となり、各テーブルともサッカーの話題で盛り上がりました。

各地区より参加いただいた会員のみならず、また、塚野社長と選手のみならずには県青中の親睦事業を盛り上げていただき誠にありがとうございました。担当していただいた八木県出向をはじめとする県青中の親睦委員会のみならずお疲れさまでした。

サポート委員会ボウリング大会

サポート委員会 松永 学

去る1月28日(月)サポート委員会主催親睦ボウリング大会に主催者側として参加しました。参加者(38名)も多かった為に慌しくスタートしました。

主催者側として少しでも皆さん楽しんで頂こうとベストを尽くしたのですが、いつの間にか同チームの山本(宏)会員・河場会員と共にゲームに夢中になってしまい1ゲーム目に210点(当然自己新記録です)を出してしまいました。隣のレーンでプレイしていた鳥越会員の異様な雰囲気の声援?も後押ししてくれたものです。主催者側としてマズイと思いつつ2ゲーム目に突入しました、1フレーム目にストライク……あ! やってしまった、もうどうにも止まりません…。結局、TSCゴルフコンペで全く縁のなかった優勝を手にしてしまいました。

主催者側としてあるまじき行為ではありましたが当日は私の43歳の誕生日であった事に免じて許していただければと思います。申し訳ありませんが大変よい思い出になりました。

大変お忙しい中、お集まりいただきましたみなさんお疲れ様でした。次回、開催時は西根副会長のやさしい提案もありハンデ付きで参加させていただきます。がんばるぞ!

